

平成21年度大学改革推進等補助金実績報告書

就職先定着のための情報共有化と迅速な
情報配信による学生支援

廣瀬 浩二 (事業推進責任者 学生部長)

補助事業の実績

- ①学生電子カルテにおいては、学生委員会を中心として電子カルテへの入力情報と閲覧者の範囲の検討を行い、事務補佐員を雇用しながら電子カルテシステムの構築を図り、出席管理ができる段階にまで進んだ。また、メーリングシステムにおいては、新たにアカウントを付与することによって、情報の迅速な一斉配信が可能となった。電子カルテシステムの導入にあたっては、他大学の状況の視察を行った。また、他大学の視察では、学生支援全般についても意見交換した。
- ②就職相談窓口については、これまで教務課と学生課とに分かれ、学生に対して対面しながら対応できないという不便をかけていたが、教務課と学生課を一つにまとめて学生総合支援センター (student services center) として新たに発足した。また、学生対応する教職員のために、私立短期大学学生指導研修会・インターカースミナーなど学外の研修会へ参加を奨励し、その研修会内容は学内のFDにおいて、研修会に参加しなかった教職員へ報告し、伝達し、共有した。
- ③国語力測定テストを実施し、在学生の国語力を客観的に把握し、国語力養成ドリルを冬休み期間中に学生に課した。
- ④ビジネスマナー講座を開催し、就職前の学生に就職後に必要となるビジネスマナー習得の機会を提供した。
- ⑤本学言語聴覚学専攻科の修了生を招聘して、在学生を対象に、言語聴覚士として実際の職業経験に基づく講演を行った。
- ⑥卒業アンケート内容を検討し、全卒業生に対しアンケートを実施した。
- ⑦就職先との懇談会を開催し、就職先での卒業生の情報交換を行った。
- ⑧新潟県歯科技工士会役員と本学歯科技工士学科との懇談会及び新潟県歯科衛生士会役員と本学歯科衛生士学科との懇談会を開催し、本学学生の就職や教育内容について懇談した。また、新潟県歯科衛生士会会員による本学歯科衛生士学科1年生を対象とした講演会を開催した。

補助事業に係る具体的な成果

- ①学生電子カルテシステムへの学生情報の入力及び閲覧について検討する過程において、教員の学生の個人情報

報の取り扱いに対する意識の改善を図ることができた。また、他大学の視察に基づき、システム内容をよりよいものにすることができた。他大学の視察によって、就職支援はもとより基礎となる学生支援全般の実態がわかり、本学の学生支援の改善につながった。

- ②就職相談窓口の整備により、学生の就職に対するニーズを的確に把握し、必要な就職情報と検索手段を提供することによって、学生はこれまでと比較して自立的に就職活動に取り組むようになった。また、教職員研修の実施により、教職員の学生理解が深まり、学生には自分の考えを素直に表現できるような雰囲気が醸成された。
- ③国語力養成ドリルを行ったことにより、語彙力3級テストの平均点が全国平均を上回り、63.5点 (プリテスト) から64.6点 (ポストテスト) へ上昇した。特に、語句の定義の分野では3.7点から3.9点へと0.2ポイントの向上がみられた。
- ④ビジネスマナー講座を開催したことにより、就職を控えた学生の実践的なビジネスマナー力の向上がみられ、日常生活への波及効果もみられた。
- ⑤専攻科本学言語聴覚学専攻の修了生による講演会の開催によって、在学生は身近な職業経験を聞き、自分の目指す職業への理解が深まり、夢の実現への決意を新たにした。
- ⑥卒業生アンケートの実施により、卒業生の転職状況及び職業経験に基づく本学のカリキュラムに対する改善要望を聞く良い機会となった。
- ⑦就職先との懇談会開催によって、卒後支援の一環として、就職先における卒業生の動向を把握することができた。中には就職先に不満を持つ卒業生はいたものの概ね順調な職業生活であったことから、学生の就職活動は概ねうまくいったと評価できる。また、保護者の組織でもある後援会からの要望もあり、卒業生に対しても相談にのれる体制をとっている。
- ⑧新潟県歯科技工士会役員と本学歯科技工士学科との懇談会及び新潟県歯科衛生士会役員と本学歯科衛生士学科との懇談会を開催することによって、学生が卒業後に期待され、また、要求される社会的スキルや職業に付随した専門的スキルを把握することができた。歯科技工士学科及び歯科衛生士学科教員にとっては職能団体役員から直接的に貴重な情報を得る機会であったし、学生指導に生かす必要性を認識できた。また、新潟県歯科衛生士会会員による本学歯科衛生士学科1年生を対象とした講演会の開催によって、理解困難な専門科目への取り組みに挫折しかかった学生に勇気と意欲を喚起し、勉学の継続を強く促すこととなった。